

広報

ただみ

1
2017 月号
No. 560
平成29年1月10日

「よーいしょ！」みんなの掛け声で餅つき大会

今月の表紙

今月の表紙は12月9日に只見保育所で行われた「餅つきお楽しみ会」で、さくら組さんが元気に餅をつく様子です。

みんなの「よーいしょ！」の掛け声に合わせて、さくら組さんが力いっぱい餅をつき、おいしいお餅が出来上がりました。餅つき前には紙芝居で餅つきの由来が紹介され、伝統的な食文化が子ども達に受け継がれ、食育が図られました。

<特集>

- 新年のごあいさつ 2~3
- 新体制となった民生児童委員 4~5
- 第45回只見ふるさとの雪まつり 6~7

<<News&flash>>

町長退任・就任 ほか 8~11

<<町の話>>

朝日クリスマス会 ほか 12~13



只見町長
菅家 三雄

公正な行政と対話型の 町づくりを目指して

明けましておめでとうございませう。平成二十九年の初春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様におかれましては、つつがなく輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

私は、昨年十一月の町長選挙におきまして、町民の皆様方をはじめ、多くの方々から暖かいご支援を賜り無投票当選の栄に浴し町政を担うこととなり、その職責の重さに身の引き締まる思いであります。皆様からお寄せいただいた信頼と期待に応えるべく新たな決意と情熱を持って町政執行に取り組む覚悟であります。

さて本町は、急激な人口減少の進行により、少子高齢化の波は年々激しさを増し、地域活力の低下が進んでおります。

子育て支援等の福祉サービスや産業の振興をはじめとした地域経済対策、行財政改革を行い、町民の皆様に安心して暮らしていただけるまちづくりをひとつひとつ着実に進めること、そして自然豊かな只見町に誇りを持ち次世代に引き継いでいくことが私の大きな役割と認識

し「公正な行政」と、将来を見通した「対話型のまちづくり」を基本として取り組んでまいります。

その第1は、住民と行政が協働する町づくりであります。まちづくりには、住民の皆様が積極的な参画が必要と考えます。地域のことはそこに住む人達が決め、そして行動することが大切です。つきましては、行政情報を共有し民意が反映される体制づくりに努めてまいります。

第2は、自然や環境と共生する町づくりの推進であります。ユネスコエコパークに登録された個性豊かな環境を活かして農林業、観光等のブランド化を図っていくことが地域再生の鍵になるものと考えます。地域文化や自然を生かした観光資源の有効活用を図り交流人口の増加に努めてまいります。

第3は、農業、林業、商工業を大切にす町づくりであります。過疎、高齢化が進む中で耕作放棄による農地の荒廃が危惧されており、水稲、夏秋トマト、花卉等の振興に加え、新たな作物の作付けが芽生えておりますので、その基盤を支える事業展開を進め、観光産業との連

携を図り地産地消運動を推進し、国道289号八十里越開通を視野に入れた取組みを進めてまいります。併せて、農地所有適格法人、農作業受委託組織、農林業担い手の育成に努め、町内の企業と連携を図りながら雇用の確保や住宅対策も進めてまいります。

第4は、保健、医療、福祉が一体となった町づくりの推進であります。町民の皆様がいつまでも健康で過ごされ町づくりに参加をいただくことが重要と考えますので、保健、医療、福祉が連携した対策を進める必要があります。診療所医師の安定した確保を図り、福祉の里を中心にさらなる組織の連携を進め、介護予防とも併せて健康で生きがいのある高齢者施策に努めるとともに、少子化対策、障がい者福祉の増進にも取り組んでまいります。また、生活交通手段として町内及び周辺地域への交通体系の充実を検討してまいります。

第5は、教育、文化を大切にす町づくりであります。少子化が進む中、将来の只見町を担う児童、生徒の教育は重要課題であります。学力向上対策、教育環境の充

実に努めてまいります。只見高等学校の存続に向け新たな山村教育留学生の受け入れ施設が整備されておりますが、なお継続して振興対策に取り組み中高連携した教育を推進する考えであります。

本町の長い歴史の中で多くの文化が残され生きております。それは貴重な財産であります。これらの文化遺産を町民の誇りとして、学校教育や生涯学習、さらには観光面にも活かしながら、守り引き継いで行くことが大切と考えっております。

第6は、公共施設の整備計画であります。まずは役場庁舎であります。仮移転、施設整備と課題は多くあります。経過等を充分精査し、只見町の身の丈に合った施設を検討してまいります。

以上、六本の柱に基づき施策を推進してまいります。他にも様々な課題が山積しておりますので、一歩ずつ着実に改善に向けた取り組みを進めてまいりたいと考えております。

結びに本年の皆様にとって素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げます。ご挨拶いたします。

政策提案のできる 議会を目指して



只見町議会議長
齋藤 邦夫

新年あけましておめで
とうございます。議会を代
表して、謹んで新年の御挨拶
を申し上げます。皆様には、
健やかに新春をお迎える
のこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、
春の町議会議員選挙、秋に
は町長選挙が行われ、この
度、菅家町政がスタートさ
れました。菅家町長の今後
のご活躍を期待いたしま
す。議会は、町民皆様の温
かいご指導・ご支援を頂
き、議会活動に精励できま
した。ここに改めて厚く御
礼を申し上げます。

国外に目を向けると、米
大統領にトランプ氏当選、
英国民投票でEU離脱決
定、政治経済の混乱、テロ
や紛争が続ぎ、地球温暖化
と異常気象による自然災
害等も多発しました。

一方、大隅良典東京工業
大学教授のノーベル医学
生理学賞の受賞は、明るい
ニュースで、オートファ
ジーの解明は、癌や感染症
対策に繋がる快挙であり
ます。

国内では、天皇陛下生前
退位のお気持ち表明、オバ

マ大統領の広島訪問、日銀
のマイナス金利導入があ
った他、熊本地震や東日
本大震災による原発事故
の影響が残り、今なお多く
の方々が厳しい生活を余
儀なくされています。ま
た、選挙権年齢が十八歳以
上となり、参議院議員選挙
では、積極的な経済政策の
継続を掲げて与党が大勝
し、国民生活に直結する年
金法の改正、医療保険制度
の見直しが行われました。

さて、JR只見線につい
て、福島県と地元自治体が
検討会を開き、鉄道で復旧
させる方針を決定し、「上
下分離」方式が採用される
こととなりました。地元負
担の軽減を図るため、鉄道
軌道法の改正を国に要請
しているところでありま
す。また、本町の道路交通
網の大動脈として、国道二
八九号の全線開通と併せ
て、入叶津・只見間のトン
ネル化や駅前中心市街地
整備、更には、町内を横断
する基幹道路の整備が急
がれます。

一方、只見振興セン
ター、奥会津学習センター
建設は、予定通り完成の見

込みです。役場庁舎の建設
は、極めて遺憾の結果とな
りましたが、職員や来訪者
の安全確保のため、速やか
に対策を講じなければな
りません。

本町は、少子高齢化・限
界集落も約半数に達し
様々な問題が生じており
ます。第七次只見町振興計
画の理念に基づき、町の有
する資源の活用、ユネスコ
エコパークによる地域創
生と政策の厳選、将来を見
据えた投資、町づくりの基
盤となる集落対策など、行
政の効率化を図り、超高齢
化社会の中で人と自然の
共生を目指すまちづくり
に努めます。

昨年は、稲作、トマトな
ど、進興作物の作柄は良好
で増収に繋がりましたが、
商工観光部門では、購買力
の町外流出や原発事故の
影響を受け、観光客の入込
は停滞気味でした。町の経
済活動は、インフラ整備を
始め、関係団体との連携を
図り、広域的な取り組みが
要請されます。また、児童
生徒の減少と後継者不足
は、町の振興に大きな影響
を及ぼし、教育環境整備と

併せて、有能な人材の確保
と活用が課題であります。

さて、議会は、開かれた
町政をめざし、議会だより
の発行や議会報告会、通年
議会制度を活かした各委
員会活動の充実、必要に応
じて特別委員会を設置し、
庁舎問題や決算審査を行
行って執行状況の審査を
行なって参りました。議会
は、二元代表制の下、町民
の皆様が代わり町の事業
や予算を決定し、当局の執
行状況を監視する重要な
役割と責任があります。今
後は、議員間の政策討論を
通じて、「政策提案のでき
る議会」を目指して参りま
す。

新年を迎えるにあたり、
議会は、町当局と共に、互
いに切磋琢磨し、只見町の
更なる発展のため努力し
て参りますので、町民皆様
のご指導・ご支援をお願
いいたします。

結びに、本年が皆様方に
とりまして素晴らしい、幸
多い年となりますことを、
心から祈念して新年の挨拶
といたします。



▲12月7日に行われた委嘱状交付式の全体写真

見守り、支え、地域をつなぐ地域福祉活動の担い手 新体制となった「民生児童委員」

町の民生児童委員は12月の一斉改選により、新たに「民生児童委員」32名と「主任児童委員」2名が決定し新体制となりました。その新体制となった委員への委嘱状交付式が12月7日、朝日振興センターで行われ、厚生労働大臣、福島県知事からの委嘱状を目黒町長が伝達しました。委嘱状の交付後、第1回民生児童委員協議会総会が開催され、会長に目黒良平さん、副会長に藤田希恵子さん、渡部新喜さんが選出されました。任期は平成28年12月1日から3年間です。

今回の広報ただみでは、新体制となった「民生児童委員」と「主任児童委員」の皆さんが、どのような役割を担っているか詳しく紹介致します。

―民生委員・児童委員とは―

地域に暮らす方々が安心して生活できるように、日々の暮らしの中で困ったり悩んだりしたことを相談できる相手です。地域の一員として皆さんの立場に立って心配事や困ったことを解決するお手伝いをします。子育てのこと、学校のこと、介護のこと、経済的なことなど皆さんの秘密は守り

ますので、お近くの民生委員・児童委員にお気軽に相談下さい。

なお、民生委員は児童委員を兼ねていることから、民生児童委員とも呼ばれます。

―主任児童委員とは―

主任児童委員は、子どもの福祉に関して次の事項について取り組んでいます。

①子どもの福祉に関する機関との連絡調整

②児童委員の活動に対する援助・協力
③児童委員とともに乳幼児をもつ親の子育てに関する活動や児童福祉に関する活動

―民生児童委員の職務―

民生児童委員・主任児童委員の役割は「援助を必要とする人が、その能力に応じて自立した生活ができるよう相談に乗ったり、サービスの利用を支援したりすることです。皆さんの立場で親身になって相談に乗ったり、心配ごとを解決するために関係機関との連絡調整役を務めます。

それらの活動を行うために、次の7つのはたらきがあります。

―民生委員・児童委員の7つのはたらき―

一、社会調査のはたらき
(アンテナ的な役割)

担当区域住民の実態や福祉ニーズを日常的に把握します。

二、相談のはたらき

(世話的な役割)
地域住民が抱える問題について、住民の立場に立ち親身になって相談に乗ります。

三、情報提供のはたらき

(告知的な役割)
社会福祉の制度や福祉サービスについて、その内容や情報を住民に提供します。

四、連絡通報のはたらき

(パイプ的な役割)
住民が個々の福祉ニーズに応じた福祉サービスが受けられるように、関係機関などに連絡し、必要な対応を促します。



▼(写真/カルガモクラブでの活動)教育委員会や社会福祉協議会などと連携し、様々な活動を行っています

新体制となった「民生児童委員」「主任児童委員」を紹介します

民生児童委員

【会長】



目黒 良平さん
担当/塩ノ岐

【副会長】



藤田 希恵子さん
担当/新町



渡部 新喜さん
担当/小川上

【只見地区】



目黒 ハナエさん
担当/宮淵・上町



山内 久美子さん
担当/原



目黒 より子さん
担当/田中



菅家 トヨ子さん
担当/只見沖



酒井 洋子さん
担当/新屋敷



三瓶 只子さん
担当/叶津・入叶津・八木沢



五十嵐 アキ子さん
担当/居平・久保



三瓶 キクエさん
担当/宮原・寄岩



五十嵐 イミ子さん
担当/塩沢・十島



渡部 和子さん
担当/館ノ川・黒沢



船木 ゆき子さん
担当/黒谷入



吉津 有子さん
担当/沖・根木沢



本名 ムツさん
担当/蓮ノ原



菅家 のり子さん
担当/黒谷町



堀金 太一さん
担当/上福井



渡部 永子さん
担当/下福井



山崎 行弘さん
担当/樋戸



栗木 理恵子さん
担当/小川下・荒井原



小萩澤 慶子さん
担当/熊倉・亀岡・深沢



三瓶 秀樹さん
担当/長浜・荒島



平山 久美子さん
担当/小林上



山内 文子さん
担当/小林下



馬場 良元さん
担当/梁取



矢沢 英也さん
担当/二軒在家



佐藤 則子さん
担当/大倉上



角田 利枝子さん
担当/大倉下



梁取 祝久さん
担当/坂田



梁取 美鈴さん
担当/布沢上



荒井 安行さん
担当/布沢下



渡部 千重子さん
担当/全域



吉津 和子さん
担当/全域

主任児童委員

【明和地区】

五. 調整のはたらき

(潤滑的な役割)

住民の福祉ニーズに対応し、適切なサービスの提供が図られるように支援します。

六. 生活支援のはたらき

(支援的な役割)

住民の求める生活支援活動を自ら行い、また支援体制をつくっていきます。

七. 意見具申のはたらき

(代弁的な役割)

活動を通じて得た問題や改善策について取りまとめ、関係機関などに意見を提起します。

7つのはたらきを実践するため、民生委員・児童委員は定例会を月1回開催し、地域の状況を共有するとともに、各種研修会や勉強会を実施し、福祉サービスの内容などを確認しています。

また、教育委員会と連携し子育て支援活動を行い、その他にも地域支え合いの担い手として日々の訪問活動や、社会福祉協議会が行う事業への協力など精力的な活動を行っています。

雪まつり
Topic

今回は熊本復興応援！！

第45回 只見ふるさとの雪まつり

開催日／平成29年2月11日(土)～12日(日)

前夜祭／2月10日(金)

「今回の雪まつりは・・・
熊本の復興を応援」

町の一大イベントである「只見ふるさとの雪まつり」は昨年、3万4千人の来場者がありました。

45回目となる今回の雪まつりは、「熊本復興応援」をテーマに掲げ、準備が進められております。何故、熊本復興応援なのか・・・只見町は5年前に新潟・福島豪雨により大きな被害を受け、多くの方々から支援を頂きました。第41回の雪まつりでは、熊本県出身の八代亜紀さんがチャリティーとして雪まつりに参加して下さい、町の復興を応援してください。今年度は「今度は只見町が熊本を応援する番だ！」。この気持ちから今年のテーマが掲げられました。

今回の雪まつりは、大雪像に「熊本城」が作成され、さらに「八代亜紀」さんが再び雪まつりのステージに立ち、熊本県の大人気キャラクター「くまモン」の出演が決定するなど、多くの熊本応援イベントとして開催されます。

問合せ先：只見ふるさとの雪まつり実行委員会(事務局／観光商工課内)

電話／0241-82-5240

HP／<http://tadamisnowfes.com/>

▲写真／第44回只見ふるさとの雪まつり 祈願花火の様子

宜しくお願いします!



栗田 朱里さん

矢澤 美菜さん

「雪むすめが決定しました!」

今回の雪まつりを盛り上げてくれる雪むすめ2名が決定し、12月13日に役場で委嘱状が交付されました。皆さん宜しくお願いします!

- 栗田 朱里さん(写真/左)
職 場/只見小学校養護教諭
出 身/喜多方市
- 矢澤 美菜さん(写真/右)
職 場/グループホーム和の里
出 身/只見町二軒在家

◆point 1. 今年の大雪像は?

今年は「熊本城」を作成します。

◆point 2. 注目のステージショーは?

- ①熊本県の大人気キャラクター「くまモン」ステージ
出演日/2月10日(金)~11日(土)
- ②「八代亜紀さん」with「ミレアさん」オンステージ
出演日/2月11日(土)
- ③よしもと芸人お笑いライブ
「ライス」・「相席スタート」・「大西ライオン」・
「松下笑一」
出演日/2月12日(日)

※他にもイベント盛りだくさんで行われます。

◆point 3. 冬の夜空を彩る「祈願花火」

皆様の「めでたいこと」「記念すべきこと」「追善供養」などをメッセージに合せて打上げます。

最後には音楽と連動したスターメインが皆さんを感動の世界にいざないます!



「雪まつり町民花火募金」について

雪まつり祈願花火では、「町を築いた先人に感謝し、未来繁栄と町民の皆様の健やかな暮らしを祈願する」という趣旨により、毎年「町民花火」を盛大に打上げております。

今回も町民花火を盛大に打上げるため、只見町役場や只見町観光まちづくり協会、季の郷湯ら里、町内の商店などに募金箱を設置しております。

今回は、千円以上募金して頂いた方に、雪まつり限定「ブナりんマグカップ」をプレゼントしております。皆さんで素晴らしい町民花火が上げられるよう、ご支援・ご協力をお願いします。



▲町民花火募金 1,000 円以上で貰える「ブナりんマグカップ」。(数に限りがあります)

目黒吉久町長退任 菅家三雄町長が初登庁



▲12月15日、退任式で花束を受け取る目黒町長(左)



▲12月16日、初登庁で花束を手にする菅家町長(右)

使命感もって
取り組んだ8年間
目黒町長退任

12月15日で任期満了を迎えた目黒吉久町長の退任式が、同日町役場で行われました。

退任式で職員を前にした目黒町長は、2期8年間のうちで取り組んだ町制施行50周年事業や新潟・福島豪雨災

害からの復旧事業、ユネスコエコパークへの登録などについて思いを振り返りました。「只見町はまだまだ可能性を秘めている。町の将来の為に矜持を持ち続け立ち向かって欲しい」と退任の挨拶を述べました。その後、職員から花束の贈呈を受け、職員の拍手で見送られ役場を後にしました。

目黒町長は平成20年の町長選挙で初当選し、2期8年にわたり町政を担ってきました。

町史に新しいページ 菅家三雄町長就任

12月16日、菅家三雄町長が初登庁し、町役場玄関前で多くの町民や職員の拍手で出迎えられました。

就任式で菅家町長は「町政から離れていた8年間の空白を埋めるために学び、その間培った住民自治をベースとした考えを町政に活かし、町のさらなる発展を目指したい」と決意を表明し、「町が抱える大きな課題『過疎・少子高齢化対策』を、職員と共に取り組みたい」と訓示を述べました。

その後、新旧町長による事務引継ぎが行われ、町長として新しい一歩を踏み出しました。

新体制となった

只見町選挙管理委員会

12月25日で任期満了となる町選挙管理委員会の新体制について、12月26日に第1回町選挙管理委員会が開かれ、次のとおり決定しました。任期は平成28年12月26日～平成32年12月25日までの4年間です。

【選挙管理委員会委員】



▽委員長
渡部 英弥(黒沢)



▽委員長職務代理者
舟木 和一(小林)



▽委員
伊豆 富子(叶津)



▽委員
渡部 等(小川)

【選挙管理委員会委員補充員】

- 山岸 秀弥(只見)
- 吉津 秀一(長浜)
- 矢沢 千代(二軒在家)
- 目黒 芳美(石伏)

前只見町農業委員3名が

「永年勤続農業委員」を受賞

11月8日、県農業会議の主催で、地域農業の振興や担い手の育成・確保、農業者の地位の向上などを目的に「県下農業委員会大会」が福島市で開催されました。

大会において只見町からは、農業委員会前会長の渡部且明さん、前委員の目黒紘さん、佐藤茂さんが「永年勤続農業委員」として表彰され、12月16日に行われた只見町農業委員会総会の際に、矢澤照嘉会長から表彰状と記念品が伝達されました。今回の受賞は、農業委員としての在職期間が12年(4期)以上であり、地域農業の振興に努め、農村の発展と農業者の地位向上に寄与した功績が評価されたものです。



▲矢澤会長から賞状を伝達される佐藤茂さん

【SL「C58」蘇る

7年ぶりの「化粧直し」を実施

現在建築工事中の只見振興センター前に展示されているSL「C58-244」を、7年ぶりに塗装する「化粧直し事業」が、11月15日～30日までの5日間行われ、町内外から述べ40名程のボランティアが参加しました。この事業は、展示されたSLを観光資源として活用しようと自然首都只見J.R只見線観光化推進協議会が主催し、フェイスブックで参加を呼びかけました。

最終日の30日は県内外から只見線ファンなど10名が集まり、SLの外観塗装と内部の清掃を行いました。事務局の町観光まちづくり協会の酒井事務局長は「蘇ったSLを、町民にも身近な資源として感じて欲しい」と話されました。



▲ボランティアの皆さんにより蘇ったSL「C58-244」

会津地区で優勝！県大会出場！

只見町バレーボールクラブが活躍

11月5～6日、県バレーボール協会と県小学生バレーボール連盟が主催する「第39回県小学生バレーボール選手権会津地区大会」が、下郷町大川ふるさと公園コミュニティセンターで開催され、只見町バレーボールクラブが見事地区優勝を果たしました。

会津地区で優勝した只見町バレーボールクラブは、12月9～10日に県営あづま総合体育館で開催された県大会に出場しましたが、惜しくも予選リーグ敗退となりました。

只見町バレーボールクラブの今後の活躍に期待です。



▲地区優勝を果たした只見町バレーボールクラブの皆さん

トップアスリートが夢の大切さを伝える

只見・朝日小学校で「アスリート夢先生」心の授業を開催

ただみコミュニティクラブが主催で、アスリートが子ども達に夢を伝える心の授業「アスリート夢先生」が只見・朝日小学校で開かれ、講話や実技が行われました。

12月5日に行われた只見小学校では、ソフトボール元日本代表で、現在はビックカメラ高崎チームで活躍されている「黒川春華」と「柳井春奈」さんが来校されました。講話では、ソフトボールから学んだことや、仲間の大切さなどが話され、子ども達に「掃除もソフトボールも本気で向き合わないと上達しない。今できることを一生懸命にやってみよう」とエールを送りました。その後グラウンドでノックやピッチ



▲トップレベルのピッチングを披露する黒川選手

ングが披露され、子ども達はその実力を肌で感じる事ができました。

朝日小学校の心の授業は12月13日に行われ、実業団バレーボールリーグの久光製菓チームや全日本代表選手として活躍された「筒井視穂子」さんが来校されました。筒井さんは、姉の影響で小学校2年生からバレーボールを始め、数々の優勝や活躍をする事にも、自身が経験した辛い練習やいじめによる登校拒否、海外遠征での大けがなどを話され、子ども達に「夢は変わっても大丈夫。夢や目標を持つて下さい」とメッセージ贈りました。その後体育館で筒井さんのスパイクが披露され、子ども達はその威力に圧倒されていました。



▲強烈なスパイクを披露した筒井視穂子さん

只見中1年生「新國太陽さん

中学生の税についての作文で入選

県納税貯蓄組合連合会が税への意識を高める目的で実施している平成28年度中学生の「税についての作文」の入選者が11月8日に発表され、県内116校5313作品の応募の中から、只見中学校1年生の新國太陽さんの作文が「東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞」に入選しました。

新國さんの作文は「国県町という家族」というタイトルで、農業を営む父を題材にして書かれました。新國さんは「お父さんから税について教わりました。税について少しは理解できたと思います」と感想をのべました。受賞おめでとうございます。



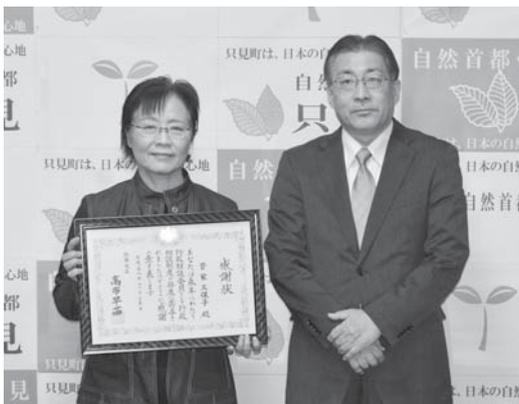
▲「東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞」を受賞した只見中学校1年生の新國太陽さん

只見町行政相談員

菅家三保子さんへ感謝状

総務省から委嘱され、役所(国、県及び市町村)や特殊法人などの仕事に關して町民の方からの相談に応じる「只見町行政相談員」を、11月15日付で退任された「菅家三保子」さんへの感謝状贈呈式が11月24日、町役場で行われ関係者が参加しました。

贈呈式では、福島行政評価事務所の小野武司所長が総務大臣からの感謝状を菅家さんに伝達し、「永年に行方行政相談活動にご協力を頂き感謝申し上げます」と挨拶されました。菅家さんは3期6年間、只見町の相談員を務められ、町民の相談に応じられました。



▲感謝状を手にする菅家三保子さん(左)と小野所長(右)

平成28年度福島県教職員研究論文
町内3小学校が入賞

県教育委員会が、県内の教育の振興を図ることを目的に、学校の教育実践に基づく研究論文などを募集した「第45回福島県教職員研究論文」で、只見朝日小学校が「入選」、明和小学校が「奨励賞」にそれぞれ入賞され、12月6日に只見振興センターで表彰式が行われました。

表彰式では、県南会津教育事務所の渡辺惣吾所長から各小学校の校長先生に賞状が伝達され、その後の挨拶で「町内全ての小学校が、県レベルで評価されたのは非常に素晴らしく、前例がないことです。」と評価をいただきました。



▲賞状を受けとった朝日小学校鈴木校長(中左)、只見小学校関根校長(中)、明和小学校渡部校長(中右)と、渡辺所長(左)、齋藤教育長(右)

只見町を知る検定
「第2回只見おもしろ学検定」開催

只見町の歴史や文化などの地域資源を多くの人に知ってもらうことを目的に「第2回只見おもしろ学検定」が12月10日、各振興センターを会場に行われました。今年は参加する生徒が多かった朝日・明和小学校でも検定会が開かれ、総勢85名が受験しました。今回の合格は初級73名、中級3名となり、中級の合格者は次のとおりです。

【中級合格者3名】
 新国 守 さん
 横山 麻佐美さん
 横山 治 夫さん



▲朝日小学校で行われた検定会の様子

今季の無事故を願う
只見スキー場オープン式

12月22日、只見スキー場のオープン式がスキー場ロッジで行われ、約30名の関係者が出席しました。

オープン式では、スキー場を運営する会津ただみ振興公社の newly 守支配人が「安全安心なスキー場を目指し、サービス向上に努めます」と挨拶し、菅家町長が「多くの方々にご利用して頂き、ゲレンデに沢山の滑る姿が見られることを願います」と祝辞を述べました。その後、齋藤邦夫町議会議長の音頭で安全を祈願して乾杯が行われ、関係者のテープカットでオープンしました。しかし、2年連続の雪不足により滑走不可の状況が続いているので、今後の降雪が期待されます。



▲今シーズンの無事故を願い行われたテープカット(スキー場レストランは12月17日から営業)

そばの魅力伝える
「朝日そばまつり」を初開催

12月18日、朝日振興センターを会場に「朝日そばまつり」が初めて開催され、町民約30名が来場し、そばの味を堪能しました。

このそばまつりは、町のそばの魅力を伝え、そばの作付振興に繋げることを目的に、熊倉地区の熊倉蕎麦愛好会の皆さんの協力のもと、朝日振興センターが主催しました。

今回は、会津のブランドそば粉「会津のかおり」を使用し、熊倉蕎麦愛好会の目黒義行さんにそばを打っていただきました。食べ放題のそばは、冷たい盛りそば、温かい田舎そばで提供され、来場者からは「香りが良い」「本当に美味しい」といった声が聞かれました。



▲そばの味を堪能する来場者の皆さん

サンタクロースからお菓子のプレゼント 「朝日クリスマス会」開催

朝日地区地域づくり委員会主催のちょっと早めの「朝日クリスマス会」が12月4日、朝日振興センターで開催され、町内の子どもや大人約100名が参加しました。クリスマス会では、サンタさんからお菓子のプレゼントや、ブナりんと一緒にダンスゲームなど子ども達が楽しめる盛り沢山のイベントが行われ、会場は大いに盛り上がりました。また、当日はフリーマーケットも同時開催され、雑貨や子ども用衣類など多くの商品が並び、クリスマス会に訪れた方々に好評でした。



▲サンタクロースからお菓子のプレゼントを受けとる子ども達

年越しそばを自分で打つ!! 「そば打ち講座」開催



▲(写真/只見振興センター)出来上がったそばを手にする参加者の皆さん

12月11日、只見・朝日振興センターで「そば打ち講座」が行われ、地域の方々が参加しました。

只見振興センターは只見町そば部会の赤塚房子さんと吉津幸子さんが、朝日振興センターは熊倉蕎麦愛好会の目黒義行さんが講師を務めました。講座では、只見産そば粉が使われ、初めて参加する子ども達も上手にそばを打つことができました。

完成したそばを試食した参加者からは「美味しい」という感想が聞かれ、今年は自分で年越しそばを打つと意気込む参加者もいました。

正月を迎える準備 「正月飾り作り講座」開催

恒例の正月飾り作り講座が、只見・朝日振興センターで行われました。12月11日に開かれた只見振興センターの「しめ飾りづくり講座」は、講師に三瓶彰治さん夫妻を迎え、約20名の参加者がイワシバを使った伝統技法を学びました。

12月15日、朝日振興センターでは渡部稔さんを講師に「しめ縄作り体験」が行われました。参加者は、太いものから細いものまで個性あふれるしめ縄を作り上げ、年の瀬に正月の準備をしました。



▲手や足を使って上手に作る参加者の皆さん



▲あめを搾る参加者の皆さん

只見おもしろ学・文化編 「水あめづくり」を学ぶ

只見おもしろ学・文化編「水あめづくり」が12月6日、只見振興センターで行われ、町民12名が参加しました。

体験では三瓶こずえさんを講師に迎え、水あめづくりの説明をいただきました。参加者の皆さんは、「アメシボリ」を体験し、1時間程煮詰めて水あめを完成させた後、パンやヨーグルトなどにかけて試食を行い、東の間の「あめよばれ」の雰囲気を楽しむことができました。

只見町ブナセンター 町外展 「自然首都・只見」展 下郷町で開催

只見町ブナセンターは、只見町の自然や生活文化を町外の人々に伝えるために毎年町外展を行っており、今年は11月9日～20日に下郷町で開催しました。自然や生活文化、ユネスコエコパークの解説パネルとマタビザルなど伝統的な手仕事の日用品を展示した会場には約140名の方が訪れ、ブナセンタースタッフが一人一人に解説しました。只見町に関心の強い来場者も多く、展示物への質問も相次ぎ、関東方面からの方は「次はもう少し足を伸ばして只見町に行きたい」と話されていました。また、13日と19日に、ブナセンタースタッフによる「只見町の自然とくらし」、ブナセンター友の会会員による「『自然首都・只見』に込められた思い」という題の講演会をそれぞれ行いました。南会津地方を中心とした約30名の聴講者と質疑を通して、それぞれの町村の歴史、食文化や風習などの共通点・相違点を話し合うこともでき、町村間の交流を深めることができました。



▲展示会場の様子

ブナセンター講座

12月10日(土) 「豊かな熱帯林が支えるボルネオ先住民の暮らしと文化」 ～ラタンのカゴ編みを通して～



▲会場からの質問に答える竹内氏

熱帯ボルネオ島の先住民は只見町同様、身近な植物を用いて日用品を編む伝統文化を持っています。竹内やよい氏(国立環境研究所)に、彼らの暮らしと熱帯林の生物多様性について講話いただきました。ボルネオ島先住民イバンの人々は、250種もの植物を区別し、木材、食べ物、燃料、薬、儀礼など様々な用途に用いています。また、ラタン(熱帯のツル植物の総称、日本では籐と呼ばれる)を用いて、漁労道具、農作業道具、ザル、運搬用具など日用品を編みます。これらの植物は村所有の原生的な林『プラウ』で採取されますが、開発による伐採が進み、プラウが失われつつある村もあります。町内をはじめ35名の方が聴講され、竹内氏は参加者の質問に丁寧に応対され、充実した講座となりました。

12月から新しい看護師さんが着任しました!

12月1日から3月31日まで朝日診療所で勤務していただく会津中央病院看護師の猪巻拓也さんです。現在勤務2年目で、看護師の他に「救急救命士」の資格を持っており、現場でその知識が活かされています。猪巻さんは、只見町のソウルフード「マトン」を食べてみたいと楽しみにしていました。「慣れるまで時間がかかるかもしれませんが、私を見かけたら気軽に声をかけて下さい!」と話す猪巻さんをどうぞ宜しくお願いします。



猪巻 拓也さん(出身/会津美里町)
趣味はスポーツで、休日は「フットサル」や「ボルダリング」を行っています!

広報ただみ診療所

朝日診療所
所長 若山 隆



「抗インフルエンザ薬について」

新年あけましておめでとうございます。今年度も皆様にとって良い年になることを願っています。

今回のテーマはインフルエンザの治療薬についてです。

今シーズンは只見でもインフルエンザの流行が例年にくらべて1ヶ月以上も早かったです。インフルエンザは毎年4月頃までよく見られますので、今後かかる方もおられると思います。

インフルエンザの治療についてですが、インフルエンザの典型的な症状は、発熱、咳、からだの節々の痛み、倦怠感などで、これらがすべて治まるのにだいたい1週間程度かかります。ほとんどの方は、風邪と同様に自分の免疫力で自然に治ります。ただ、他の風邪よりも症状全般が重くでやすいので、熱や咳、体の痛みなどの症状に合わせて苦痛を取る治療を行います。解熱鎮痛薬や鎮咳去痰薬などが主になります。そこにタミフルを代表とした抗インフルエンザ薬を使うかどうかになります。実は、タミフルはすべてのインフル

エンザの方に勧められるものではありません。アメリカ疾病管理予防センターの推奨では、次の場合に抗インフルエンザ薬を使うことを推奨しています。①重症な方(入院が必要になるような)、②2歳以下の小児、③ご高齢の方(65歳以上)、④肺、心臓、腎臓、肝臓、神経などに慢性の病気を持っている方、⑤妊婦や出産直後の方、⑥病気や内服薬などで免疫力が低下している方です。**大切なことは、小学生以上の健康な方には抗インフルエンザ薬は勧められていないのです。**タミフルの良い点としては、発症から2日以内に内服すれば、インフルエンザの症状を半日~1日短くできます。悪い点としては、嘔気・嘔吐が増える(1.5~2.5倍になる)、使いすぎると耐性ウイルス(タミフルが効かなくなったウイルス)が増える、医療費が増える、ことなどがあります。

クスリは逆からよむとリスク(英語で危険という意味)になります。クスリは必要な場合にのみ使うようにしましょう。

地域おこし協力隊として vol.26

只見観光振興協力隊
橋本 拓馬



「冬の業務について」

私は会津ただみ振興公社に所属し、春~秋までキャンプ場の誘客業務、冬はスキー場の誘客業務を行っています。しかし今年の冬は、スキー場の業務ではなく、町観光まちづくり協会で雪まつり以外のイベントを企画し実行する事になりました。

今の段階で、私は3つの企画を考えております。

①「田子倉ダム内部見学ツアー」・・・水の郷祭りの際にダム内部見学を実行した結果、かなり好評だったのと、私もダム内部に興味があったので冬の間も実行しようと思い企画しました。

②「巨大な雪の滑り台」・・・豪雪地帯「只見」の雪を活用して遊び場を作ろうと考えました。ただ滑るのでは楽しくないので変わったソリを導入し満喫して頂こうと思います。

③「湯ら里&SLイルミネーション」・・・湯ら里は、園庭にあるケヤキの木2本に電球を取り付けようと考えており、SL(東邦銀行側)は全体に電球を取り付けられるように考えています。

以上、3つの企画を実行し雪まつり以外にも冬の只見に誘客を図り、満喫してもらおうと思います。

只見ユネスコエコパークがめざすもの③

―只見の自然環境を守る(2)―

前号に続いて、只見ユネスコエコパークにおける自然環境や生物多様性の保護・保全に関する取り組みをご紹介します。

「只見町の野生動植物を保護する条例」の制定

只見町の総面積のうち、約六五%を国有林が占めています。それらは越後三山只見国定公園や奥会津森林生態系保護地域、そして会津山地緑の回廊などが指定・設定されていて、自然環境や生物多様性を保護・保全するための法的な整備がなされています。しかし、それ以外の地域については必ずしも法的な規制が十分に整備されてはいませんでした。他方、二〇二五年には新種のタダミハコネサンショウウオが発見され、町内における希少生物の保護・保全を図る必要性が高まりました。さらに、只見町では身近に自生しているものの、よその地域では容易に見ることができ

ないフクジュソウやカタクリなどの山野草が、一部の心ない人によって盗掘されることがたびたびありました。また、夜間のライトトラップによる昆虫採集者が増え、乱獲が心配されるようになってきました。町民からは、そのような問題に対応できる条件整備が求められていました。そこで、二〇二六年六月、「只見町の野生動植物を保護する条例」が制定されたのです。この条例は、地域住民の従来の生活を損なうことのないようにして、きびしい罰則規定は設けていません。地域住

民が地元の野生動植物を守りながら地域の持続可能な発展を図るという理念条例となつています。ただし、町の野生動植物をより積極的に守るため、町がとくに保護・保全すべき野生動植物を「町指定貴重野生動植物」として指定できるほか、ライトトラップなどで大量に昆虫を採集する行為は禁止されることになっています。

「ただみ・観察の森」の整備

只見町には、奥山のみならず集落周辺でも、地域を特徴づけるブナ林をはじめとする自然環



▲六十里越(国道252号線)に設置した条例を周知する横断幕



▲梁取学びの森



▲肘折のユビソヤナギ林



▲下福井水林のブナ林

境がよく残されています。こうした自然環境を身近に触れ、理解してもらおうとともに、その保護・保全を図るため町内各所に「ただみ・観察の森」を整備しています。すでにオープンしている観察の森は、つぎの七か所です。
①梁取学びの森：梁取森戸川の源流部に位置し、かつて薪炭材生産のために伐採された後、再生したブナの二次林です。②③ユビソヤナギ観察の森：国内最大規模の自生地となっている希少樹種ユビソヤナギを観察できる森です。杉沢と肘折にあります。
④下福井水林のブナ林：下福井の水林(水源林)として守られてきたブナの天然林です。⑤樋戸のブナ林：ブナの天然林が伐採された後、ブナやナラ類が再生し、その後シイタケの原木用にナ

ラ類が抜き切りされてブナの純林となったブナ二次林です。⑥黒沢のコナラあがりこ林：薪材生産を目的に、雪上伐採と萌芽再生を繰り返した結果、あがりこ型樹形となったコナラの巨木の森です。⑦蒲生あがりこの森：蒲生の真奈川沿いに、薪材生産とかがじ焼きの影響により成立したあがりこ型樹形のブナの森です。
いずれも只見町の自然環境を特徴づけるものであり、人々の暮らしとの関わりを観察できる貴重な森でもあります。これらは、地元集落の方々のご協力によって整備されたものです。観察の森は、ただみブナと川のミュージアムにおいてブナ林の成り立ちなどの自然環境を学習したのち観察に入るようになっています。



町民文芸

只見短歌会

十一月詠草

大塚栄一

指導

玄関に散らばる落葉そのままに病みつぐ義姉の看取りに向かふ

古川 英子

馬場 八智

年どしに病む友や臥す人をりて賀状の数の減りゆく寂し

小倉キミ子

小春日に朽ちし枝落とす大胡桃見上げる枝に冬芽の萌す

新国由紀子

臍癌の従兄の入院案ずれど遠く住みゐる我はずべなし

関谷登美子

研修に隣り町なる金山の八景巡る説明は生く

渡部ゆき子

健康が自慢と言ひし日も遠く薬の数の次第に増える

目黒 富子

刈り取らず未枯れし蕎麦の茎赤く雪が間近の畑を彩る

渡部ヨリ子

亡き母に似てきたと言はれる事多くなりていつしかその歳を越す

新国 洋子

久びさに施設を訪へばいち早くわれを見つけて姉は駆け寄る

(出詠順)

只見俳句会

十二月例会

目黒十一

指導

垂れし枝潜り選んで林檎狩

礼

冬の日や笑いこぼるる子供客

添之文の長々となり日短

順子

小春日や箆笥は母の匂ひして

雪婆遊具離るる子へ寄りて

おのが背に右往左往の雪ぼたる

修一

落葉や走りすぎ行く女子生徒

段取りを言い争いて大根引く

冬服の襟をすぼめて駅ホーム

一穂

風花や喜寿の祝に初曾孫

会津縞ゆっこぎを裁つ囲炉裏端

長老の三本メや忘年会

吉児

土津神奥津城鎮む初菫

俳友の白寿祝や初座敷

曾孫の産声を待つ松の内

恒夫

幼き日ケーキなき家庭のクリスマス

信

日向ぼこ猫も夢見る散歩道

小春日やマラソン人が追い抜きぬ

都

長グツを履いては脱いで秋探し

冬困う胸算用で縄計る

残菊や畑の隅に黄の光り

洋子

三度程野に降りたれば寝雪らし

年毎に守りし馳走大晦日

納豆寝せよーぐ寝だべど起し見る

味代子

声高に手順伝える冬仕度

冬来る山は拒まず静かなり

抱えこみみかん畑でほうばりて

恒夫

茶の花やすとんと落ちる江戸落語

ひと仕事終えたるあとの返り花

ジンギスカン鍋と村びと愛しけり

恒夫

今月のお知らせ

電話番号

総合政策課 地域振興係 財政係	☎ 82-5220
総務課 総務係 職員係	☎ 82-5210
町民生活課 税務係 係 町民係	☎ 82-5110 ☎ 82-5100
保健福祉課 保健係 係 福祉係	☎ 84-7005 ☎ 84-7010
農林振興課 農政係 林政係	☎ 82-5230
観光商工課 観光係 商工係	☎ 82-5240
環境整備課 地域整備係 生活環境係	☎ 82-5270 ☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎ 84-2221 ☎ 84-2612
訪問看護ステーション	☎ 84-2130
こぶし苑	☎ 84-2101
只見振興センター	☎ 82-2141
朝日振興センター	☎ 84-2111
明和振興センター	☎ 86-2111

募集

平成29年度 只見町奨学生の募集について

町では、優秀な人材を育成するために無利子で奨学資金を貸与します。

●対象及び条件

▽平成29年度に高等学校・短期大学・大学又は各種学校に進学を希望される方で、品行が正しく、学術に優れ、身体強健であること。

▽貸与を希望される方の本籍又は住所が只見町に引き続き6ヶ月以上有すること。

▽経済的理由により修学が困難と認められること。

●利用可能貸与額

▽高等学校／

月額1万2千円以内

▽私立大学／月額4万円以内

▽国公立大学・短期大学及び

各種学校／月額3万円以内
▽支度金(4年制大学に限る)
大学入学時／30万円以内

●奨学資金の返還

利用された奨学資金は、卒業又は退学、奨学金辞退等の月より6ヶ月の返還準備期間をおき、7ヶ月目から8年以内に月賦で返還していただきます。

●申込方法

募集要項は教育委員会、朝日・明和振興センター、只見中学校、只見高校、南会津高校、町内の各郵便局、東邦銀行只見支店、JA会津よつば只見支店に設置してあります。要項をご確認いただき、必要書類を添えて教育委員会へ申請して下さい。

●募集期限

平成29年2月15日(水)まで

●奨学生の採用決定

審査決定後、本人に通知します。通知は3月中旬頃の予定です。

▼お問合せ先

只見町教育委員会
☎ 0241(82)5320

保健師などをを目指す 奨学生を募集します

次の職種を目指す方で、将来町の施設で業務に従事しようとする方に対し奨学資金を貸与します。

●対象となる職種・条件

保健師、助産師、看護師、放射線技師、理学療法士、作業療法士
▽法に基づき指定された前項の職種の養成施設に在学または在所し、国または他の団体から同種類の奨学金の貸与を受けていない方

●貸与額 月額10万円以内

●奨学金の返還及び免除規定

奨学資金貸与条例により
▽原則として10年以内に返還。
▽ただし、一定の期間内に資格

を取得し、資格取得後直ちに(保健師、助産師、看護師は5年以内に)町の機関に就職し、その後引き続き10年以上当該業務に従事したときは返還の債務が免除されます。

●申込手続

奨学資金貸与申請書に住民票抄本、履歴書、健康診断書を添えて、保健福祉課保健係に提出してください。
申請書等は、只見高校・南会津高校に送付しています。また、問い合わせのあった方に直接送付しますので、保健福祉課にご連絡ください。なお、進学予定の方も受け付けます。

●募集期間

平成29年2月10日(金)まで

▼お問合せ先

保健福祉課 保健係
☎ 0241(84)7005

税 今月の納期

1月25日までに
納めましょう

- 町県民税(4期)
- 固定資産税(4期)
- 後期高齢者保険料(6期)
- 農集排使用料(1月分)

只見おもしろ学クイズ

今回は只見おもしろ学クイズ中級編のクイズです。

(問題)

子どもが正月2日の事始めの日に半紙に「火の用心」と書く時の年齢を次から選びなさい。

- ① 数え年6歳
- ② 数え年5歳
- ③ 数え年4歳
- ④ 数え年3歳

(答えは19ページです)



フナリン

認知症を理解する

認知症は、85歳以上の4人に1人がなるといわれている病気です。認知症になると下の表のような変化が本人に現れることがあります。周囲の人の関わり方によって症状が強くなることもあります。ここでは、認知症の症状について知っていただきたいと思います。このような症状に対してどのように接すればよいか、認知症について知りたいという方などは、お気軽に只見町地域包括支援センター(TEL 8 4-7 0 0 5)までご相談ください。また、認知症の診療を行っている専門の医療機関等の案内も行います。

認知症の容態 支援の内容	認知症を有するが 日常生活は自立	誰かの見守りがあれば 日常生活は自立	日常生活に手助けや 介護が必要	常に介護が必要
本人の様子 (見られる症状や 行動の例)	<ul style="list-style-type: none"> ●新しいことがなかなか覚えられなくなったり、約束したことを忘れてしまう。 ●やる気がなくなったり、不安が強くなるなどの症状がみられることがある。 ●失敗したことを指摘すると怒り出すことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電話の対応や訪問者の対応が1人では難しくなる。 ●道に迷うようになる。 ●買い物など今までできたことにミスが目立つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●着替えや食事、トイレなど日常生活に支障をきたす。 ●「財布をとられた」「お金がなくなった」と言い出す。 ●自宅が分からなくなり、徘徊が増える。 ●時間・日時・季節がわからなくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●言葉によるコミュニケーションが難しくなる。 ●家族の顔や使い慣れた道具がわからなくなる。
ご家族 ご近所 へのお願い	<ul style="list-style-type: none"> ●医療や介護について勉強しましょう。認知症を引き起こす病気により今後の経過が異なります。対応の仕方によって、本人の症状を悪化させてしまう原因にもなります。周囲の適切な対応により、穏やかな経過をたどることが可能です。接し方のコツや基本などを学び理解しましょう。 ●失敗しないように手助けしましょう。今までできていたことが少しずつできなくなり失敗が増えてきます。失敗体験は本人の自信を喪失させ、症状の悪化につながります。できるだけ失敗しない、失敗を最小限にするようさりげないフォローをしましょう。 ●介護保険サービスなどを利用しましょう。戸惑うような出来事が増え、介護が難しくなってきます。介護者自身の健康管理にも気をつけることが大切であり、介護保険制度を上手く利用し、介護の負担を軽くしましょう。 			

相談窓口

●地域包括支援センター(只見町保健福祉センター「あさひヶ丘」内)

認知症介護のアドバイスや医療機関の受診、地域のサポートを受ける方法など、できる限り自宅で生活ができるためのお手伝いをします。電話：0241-84-7005

町長スケジュール (12月分)

- | | |
|---|--|
| 1日 滝調整池堆砂対策協議会 | 16日 菅家町長初登庁、臨時庁議、町長事務引継、
県庁就任挨拶回り(福島市) |
| 3日 ふるさと只見会(東京) | 19日 只見町議会12月会議(~22日)、
JA会津よつば組合長来庁 |
| 5日 南会津環境衛生組合管理者会、
南会津地方市町村圏組合管理者会、
南会津町村会理事会、郡内町村長懇談会(南会津会) | 20日 Jパワー山田東日本支店長来庁、只見町消防団忘年会 |
| 7日 民生児童委員委嘱状交付式、雪まつり実行委員会 | 21日 JA会津よつば専務来庁、季の郷湯から里取締役会 |
| 9日 議案検討庁議 | 22日 只見スキー場オープン式、只見町議会との懇親会 |
| 10日 福島県生活環境部長との協議(福島市) | 23日 JR東日本経営企画部長来庁 |
| 11日 ふくしま国際医療科学センター開設記念式典(福島市) | 25日 衆議院議員 菅家一郎氏国会報告会 |
| 12日 会津管内市町村並びに県庁等退任挨拶回り(~13
日県内) | 26日 明和自治振興会来庁、只見線復興推進会議検討会
(福島市) |
| 14日 一般質問検討庁議、
郡内関係部署退任挨拶回り(南会津郡内) | 27日 郡内町村就任挨拶回り(南会津郡内)、
南会津会評議員会・理事会(南会津町) |
| 15日 目黒町長退任式、目黒町長送別会 | 28日 仕事納めの式(あさひヶ丘、役場) |

町民の消息

(11月26日～12月25日届出分) 敬称略

■ご結婚おめでとうございます

只見 藤田 暁嗣♡菅家 靖子 只見

■おくやみ申し上げます

船木 チカノ	93歳	黒谷
鈴木 リツ子	92歳	只見
小柴 敏勝	65歳	只見
渡部 ノブ子	93歳	小川
目黒 ヒロセ	99歳	長浜
磯部 モモ子	77歳	只見
目黒 ツヤノ	97歳	塩ノ崎

※前月の広報ただみ12月号(No.559)「ご結婚おめでとうございます」に掲載した、「菊池陽奈」さんの名字が「菊地」と間違っ掲載しておりました。訂正してお詫び申し上げます。

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成28年12月1日現在

人口 4, 386 (－ 6)
 男 2, 153 (－ 1)
 女 2, 233 (－ 5)
 世帯数 1, 808 (+ 1)
 高齢化率 44. 89%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 7 転出 7 出生 0 死亡 6

あとがき

▽明けましておめでとうございます。本年も「広報ただみ」を宜しくお願ひ申し上げます。

▽昨年の世相を1字で表す「今年の漢字」は「金」ということで、リオ五輪での「金」メダルラッシュやイチロー3000本安打達成の「金」字塔、政治と「金(カネ)」などの意味から選ばれました。

▽2017年、只見町の「今年の漢字」は、地域が発展し「明」るい年となるよう「明」の漢字に願いを込めて、本年も皆様にとつて明るい年となりますようお祈り申し上げます。

(三瓶)

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

生涯学習推進員
山田千春

朝日振興センター
図書室☎84-2111

おすすめ新着図書

★ゆきのひのいえで



まるやま あやこ/著

妹の世話で忙しいお母さん。絵本を読んでと言っても「あとでね」、妹を泣かしてしまうと「お姉さんなんだから」と叱られ…。お姉さんになったことで感じる切なさと、母の愛を再確認することで、それを乗り越える子どもの姿を描く感動絵本。

★鋼のメンタル



百田 尚樹/著

他人の目が気になってしかたがない、悪口に落ち込む、すぐにクヨクヨする、後悔を引きずる、人前であがってしまう…そんな悩みを抱える人は多いでしょう。でも、大丈夫。考え方ひとつで誰でも「精神の強さ」は鍛えられるのです。激しいバッシングを受けても、へこたれず我が道を行く「鋼のメンタル」は、どのように形成されたのか。最強のメンタルコントロール術。

★コーヒーが冷めないうちに



川口 俊和/著

とある街の、とある喫茶店の、とある座席には不思議な都市伝説があった。その席に座ると、望んだとおりの時間に戻れるという。ただし、そこにはめんどくさい…非常にめんどくさいルールがあった。それにもかかわらず、今日も都市伝説の噂を聞いた客がこの喫茶店を訪れる。

あなたなら、めんどくさいルールを聞かされて、それでも過去に戻りたいと思いますか?あの日に戻れたら、あなたは誰に会いに行きますか?

28万部突破のベストセラー!誰もが涙する、感動の1冊です。

★朝日振興センターではリクエストを随時受付しています。読みたい本があればぜひ、リクエストしてください。



只見おもしろ字の
答え合わせ!!

17ページクイズ答え
①教え年6歳だよ!!
詳しくはガイドブック
P106をみてね!

プナリン

ホンドタヌキ (学名: *Nyctereutes procyonoides viverrinus*)

[ネコ目 イヌ科 タヌキ属]



▲冬毛のホンドタヌキ



▲つがいでエサを探すホンドタヌキ

ホンドタヌキは、本州から九州の、人里から山中まで多様な環境に棲んでいる中型の哺乳類です。町内でも全域で見られる、とても身近な野生動物です。体型はずんぐりとしており、脚は短く、尾は太くふさふさしています。雑食性で、果実・どんぐり・穀類・昆虫・ミズミズなどをよく食べ、野ネズミ・鳥類・ヘビ・カエル・サワガニ・魚なども捕食します。

タヌキは一夫一婦制で、オスとメスが共同で子育てをし、ペアはパートナーが死ぬまで続きます。また、自分で巣穴を掘ることはなく、木の洞、アナグマやキツネの古巣、民家の床下などに営巣します。

驚いたときや危機的状況に陥ると、タヌキは「擬死」という行動をします。これは、刺激に対する本能的な反射で体が硬直し、自分では動くことが出来なくなってしまうものです。昔から人を化

かすと言われていたタヌキのこの行動から「ためき寝入り」という言葉ができました。

イヌ科のタヌキですが、脚が短く動きも俊敏ではありません。そのため交通事故に遭いやすく、町内でも事故に遭ってしまったタヌキをよく見ます。これからの季節、只見町では雪が積もり道路わきに壁ができます。この壁を登ることができず、車の前をどこまでも走り続ける姿を見ることもあります。そのような姿を見たら、苛立つことなく、逃げることでできるところまでゆっくり見守ってあげたいものです。普段、なかなか見ることのできない野生動物を、じっくりと観察するチャンスではないでしょうか。また、タヌキに限らず、車で走っていると動物が急に飛び出してくることは多いです。こういった動物たちのことも考えながら、ゆとりを持って安全運転を心掛けたいものです。

企画展

「伝統を編む人々～只見町とボルネオ島と」

期 間：2017年2月13日(月)まで開催

会 場：ただみ・ブナと川のミュージアム

座談会

「只見町の編む伝統を聞く」

期 間：2017年1月22日(日)午後1時30分～午後3時まで

会 場：ただみ・ブナと川のミュージアム

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください

CM大賞2016 只見「審査員特別賞」受賞!

KFB福島放送の「ふくしまの元気! 応援CM大賞2016」の審査会・公開収録が11月27日、郡山市で開催され、市町村のCM29作品の中から、只見町の作品が「審査員特別賞」に選ばれました(大賞は会津美里町)。

収録した番組は12月24日に放送され、只見町のCMも年間30回放送される予定です。



▲(写真/只見CM的一幕) 作品タイトル「デンジャーゾーン自然首都・只見」、町観光まちづくり協会が作成し、農家さん(梁取地区)が熱演した